

健診結果の見方⑤

今回は基本健診(循環器健診)の「腎機能検査」です。

腎機能検査

腎臓は、血液の中から体に必要の無い物質をこし出すための臓器です。

腎臓の位置は、腰のやや上あたり、背骨の両側に一つずつあり、そら豆のような形をした、握りこぶし大の大きさです。

腎臓は一日に百八十リもの血液をろ過し、体内に老廃物がたまって中毒にならないように、老廃物を濃縮して尿として体外に排泄する役割を果たしています。

基本健診では、血液検査(クレアチニン)と尿検査(尿蛋白、尿潜血)から、腎臓の働きを判定しています。

クレアチニン

筋肉が働くことでクレアチニンという物質が作られます。

この物質は、腎臓からしか排泄されないため、血液中の



クレアチニン濃度が腎臓のろ過機能の指標となります。

尿蛋白

尿は腎臓で血液がろ過されて作られています。腎臓の機能に何らかの異常があると、普通ならろ過されて出てこない蛋白が尿に出てきます。

尿潜血

尿を作る腎臓や尿の通り道となる腎盂、尿管、膀胱などに異常があると、尿の中に赤血球が混ざります。

赤血球が大量に出てくると血尿となります。肉眼ではわからない血尿もあります。

黒潮町が実施する基本健診の腎機能検査の判定基準

		腎機能検査			
		異常なし	軽度異常	要経過観察	要精密検査
クレアチニン	男性	~1.1	医師による判断	1.2~1.3	1.4~
	女性	~0.8		0.9~1.0	1.1~
尿蛋白		-、±		+	2+、3+
尿潜血		-、±、+		2+	3+

平成18年度に実施した基本健診の腎機能検査の状況

平成18年度 腎機能判定	
判定区分	人数
異常なし	1,722
軽度異常	7
要経過観察	198
要精密検査	69
現在治療中	51
合計	2,047

全受診者二〇四七人中、三二五人(15.8%)の方が腎機能に異常があると判定されています。

早期発見・治療で症状の悪化を防ぐ

腎機能に異常が認められたら、早期治療で悪化する前に進行の速度をゆるめることが大切です。

症状が悪化し、慢性腎不全になると、人工透析や腎臓移植をしないと生命の危機にさらされることもあります。

また慢性腎不全は、高血圧がもとになって起こる腎硬化症や、糖尿病がもとになって起こる糖尿病性腎症などが原因

因となることもありますので、こうした病気のある人も注意が必要です。

腎臓をいたわる生活習慣

- ・過労を避ける
- ・自身の魚や、脂身の少ない肉など良質の蛋白質をとる
- ・風邪をひかないように注意する
- ・塩分をひかえる

腎臓病危険信号をチェック!

- 顔やまぶた、手足がむくむ
- 尿がにごり、量も少ない
- 食欲がない、吐き気がある
- からだがだるく、根気がない
- 腰のあたりがいたむ
- 頭痛、めまいがする
- 糖尿病、あるいは高血圧症である

あてはまる項目の数が多い方は要注意です。ぜひ基本健診を受診してください。

○お問い合わせ

健康福祉課 保健衛生係  
 大方総合支所 ☎43-28336(直通)  
 佐賀総合支所 ☎55-7373(直通)